ふるさと公園応援隊 かわらばん

第 165 号
（初刊：2011 年 11 月 6 日）
発行日：2025 年 07 月 10 日
発行元：ふるさと公園応援隊
編集責任者：深澤　満

梅雨空と暑さの６月！

６月の定例作業日(6/24)は、朝７時ころ、強い雨がザッと降りました。予報では、かなり不安定な天気とのことでした。そこで「本日の作業実施の有無は、現地判断します」とメールをしました。

さて、カルチャーパークに行って見ると……、最終的には９名の参加となりました。

「少人数なので、一斑体制で行こう」ということになり、概略で以下のように行動しました。①第二駐車場付近での作業➡②湿地でのビワの賞味➡③湿地でのセイタカアワダチソウの除去➡④昼食会は５名の参加でした。

行動ルートは、Ｋ－Ｎ－ｇ‘－ｇ－ｂ－ｂ’Ｗ－Ｂ－Ｃ－ロ-i-j-L-c-K　となります。なお、作業開始前に、K-c-L-l-F-ハ　を巡回しました。

［0624 集合写真］

当日の、特徴的なことは以下の通りです。

・サッカー場西側のオオブタクサは、さほど目立っていませんでした。

・桜木神社通りに面しては、袋ごとの投げ込みゴミがあり、途中で管理人の方に引き渡しました。

・湿地はジンワリとしてました。

・業者に委託された草刈は、遊具・キャンプ場周辺以外では、ほとんど進んでいませんでした。

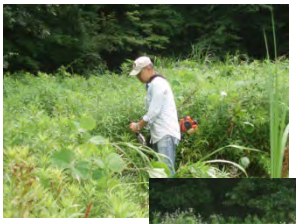
・湿地では、ヌマトラノオが穂をつけだしており、「草刈りの除外をお願いしよう」ということになりました。公園課と連絡をして、7/10 の 15 時に湿地で、確認の立ち会いとなりました。

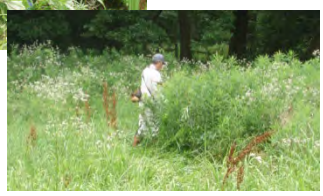
［06/24 湿地でビワ･･･］

［06/24 ヌマトラノオ］

［6/24 ネジバナ］

［6/24 ｾｲﾀｶｱﾜﾀﾞﾁｿｳ～人力で］





［6/24 草刈り機で］

［6/24 ゴミ集約］

［6/24 食事会］

この日の作業中は、本格的雨には降られず、良い作業日和となりました。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

6 月の第二業日(6/12)は、

早朝、ちょっとひんやりと感じましたが、出かけるころには時おり強い陽射しもありました。それでも、作業中は予報ほどの陽射しはなく、汗はかいたものの、比較的快適な作業日和でした。

そして、当日の参加者は 12 名となりました。

[06/12 集合写真]

林内班の報告は、**チョコさん**からです。『林内班 7 名は、おおむね以下の作業を行いました。

3 名は草刈り機を使用し、遊具奥の園路沿い及びバイオネスト周辺での作業。 他の 4 名はリヤカーを持ち込み、10 回近く往復し、バイオネスト奥から、古い丸太・枝など運び出して、バイオネスト補修・整備を行いました。 陽が照りつかなくて助かりましたが、かなりの汗を流しました。』

[06/12 林内班集合]

[06/12 林内班作業-1]

[[06/12 林内班作業-2]

[05/13 バイオネスト補修]

巡回・ゴミ班は 5 名は、サッカー場西のオオブタクサ抜去➡湿地のセイタカアワダチソウ抜去を行いました。行動ルートは、K-L-l-F-a’-k-i-ロ- i-j-L-K となります。

当日の、特徴的なことは次の通りです。

*サッカー場西のオオブタクサは、昨年ほど繁茂していません。

*サッカー場敷地内のオオブタクサは、ほとんどはえていませんでした。昨年の抜去作業の成果かな〜。

*湿地中心部は、ピチャピチャ状態でした。

＊ 湿地のセイタカアワダチソウは、かなり成長していました。

*湿地のビワは、「これからかなア」といったところでした。

＊ 1 名は。杭の揺らぎの手当、ロープの補修に専念していました。

[06/12 ゴミ班集合]

[06/12 サッカー場西側の作業]

[06/12 ゴミ集約]

[06/12 揺らぐ杭が‥‥]

6 月は、常連の詳細報告者が、諸事情で欠席したため、概略報告となってしまいました。

～～～～～～～～～～～～～～～

第二回自然観察会報告

6/28 当日、応援隊からは女性陣 5 人(お一人はオツレアイさんも)が参加しました。

まずは**フミリンさん**から、『所沢は最高気温が 36 度、12 時には 34 度と予想されて、私も暑さが心配で、対策をしながら参加しました。

林の中や木陰はさほどの暑さではなく、終了後の東屋でのお茶タイム（松郷のマサコサマ提供のコーヒーを味わいながら）は、涼しいそよ風に吹かれての癒しタイムとなりました。』

以下詳細な報告は、**チョコさん**からです。『6/28㈯カルチャーパークにて「梅雨の植物と初夏の生きもの」と題して観察会が開かれました。

まず生きもの専門家の河野宏和さんよりパーク内で出会いそうな危険な生きもの、ドクガの幼虫・スズメバチ～大きな樹の樹液に来ることが多く、オレンジと黒の色合いがいかにも毒々しい。

植物に関しては森林・植生・土壌植物調査を行う専門家の平城尚史さんよりヤマウルシや刺のある植物に注意し、マダニも近年自然の中で発生している。近づかない、触らないで長袖長ズボンを着用する大切さを話されました。

ディキャンプ場の春は花が咲いていたアカシダから観察…今は実がなっていました。つづいてモミジ…プロペラ状の種子ができ、風や鳥によって運ばると。エゴノキの実…有毒サポニンが含有され、人間や川の魚には悪影響ありだが、鳥には耐性ありヤマガラやヒヨドリにより運ばれ他でも生育すること。

森林に入り観察。2・3度以上の気温差を感じ先ずバイオネストの説明を西尾さんより。今は外からのイメージで見て頂き、夏を経て変化が有りそうで 3 月サナギの時期はそっと見守りましょうと。ネジバナ…近年ハチジョウネジバナの茎に毛がない別種もあるが、パーク内のネジバナは通常のもの。平城さんのルーペをお借りしてうぶ毛が有ることを確認。ルーペや図鑑など持参すると更に楽しさ倍増とのこと。シュンランの実…多く種を蓄えた青々した長さ 4 センチ・太さ 1 センチ弱程の実が熟して弾け来年又多く咲いてくれることでしょう。楽しみ!!

ニワゼキショウ・オオニワゼキショウ…互いの花と実の大きさの違い。

コスミレ・タチツボスミレ…種の弾かれたものを観察。風や蟻により運ばれ広範囲に繁茂される。

湿地では、ヌマトラノオの可憐な花が咲き始め、あと 10 日もすれば白い花畑の様に素敵な風景が見られ、また 8 月にはミゾコウジュ・クサネムも咲き出すでしょうと。

園道のイヌザクラの実…小さなさくらんぼとして食すことも。

その他、ギボウシ・ヒヨドリバナ・シオデの実等など。

途中、〝ちょっと来い〟と聞こえる鳥のコジュケイの鳴き声。ニイニイゼミの鳴き声。

河野さんが見つけられたナツアカネ…トンボ。

ベニスズメ…赤い色の大型の蛾の一種。

ザトウムシ…林の中におおくいる蜘蛛の様な形だが鋏角亜門クモガタ綱に分類される節足動物の一つ。

参加のお子さんが見つけた

コシロシタバ…準絶滅危惧種の夜蛾。

ナナフシ…緑の葉っぱに緑色の昆虫でなかなか見つけにくい。

その他、ハゴロモ…桑の葉っぱなどに白い小花の様に付き、触ると飛び立つ昆虫。

お子さん達は虫に夢中で喜々と楽しんでくれました。親子 5.6 組を交えて総勢 30 名近くなり賑やかな観察会となりました。

30 度超えの暑さでしたが、小まめな水分補給の声掛けと冷たいもの、塩分チャージ等などお心遣い頂きながら無事に楽しい観察日となり感謝いたします。

有難う御座いました。』

［06/28 園路を行く…］

熱中症注意!!

7月の作業予定

定例作業日:7月29日(火)

この日は食事会をしません

第二作業日:7月15日(火)

作業時間__9:30～11:30

＊作業内容:ゴミ拾い･林内作業

＊持ち物：手袋､タオル､雨具､**飲み物**､念のため、保険証・お薬手帳など

荒天など天候不順の場合は、事前に中止連絡しますが、微妙な場合現地にて判断します。

判断に迷うときは、深澤まで[090-8014-3310]連絡下さい 。

2025年8月～2026年3月の予定

＊6月～10月でも、「熱中症警戒アラート」が発令された場合は中止します。

＊8月は現地作業は中止します。

＊8/26は、懇談会と納涼会を予定します。場所などは別途お知らせします。

9/11(木)　9/30(火：定例)　、
10/14(火)　10/28(火：定例)
11/11(火)　11/25(火：定例)　、
12/16(火)
12/23(火)は、現地作業なし
　応援隊きらくな懇談会・忘年会
1/13(火)　1/27(火：定例)　、
2/12(木)　2/24(火：定例)　、
3/12(木)　3/31(火：定例)　、
3月中-下旬～4月上旬：総会的懇談会

各種感染症注意!!

コロナをはじめとして、各種感染症が流行しています。手洗いなどの感染対策とともに、日常からの、「バランスのとれた栄養補給」「適度な運動」「快適な睡眠」などで、しっかりと体調管理をしましょう。

感染予防対策、

・間隔をとっての行動。(体操･作業)
・マスク着用：各自の判断とします。
・作業間隔の短縮・水分補給。
・使い捨て手袋または終了直後に洗える手袋など使用(特にゴミ拾い)。
　なお、石鹸・消毒用アルコールは準備しています。

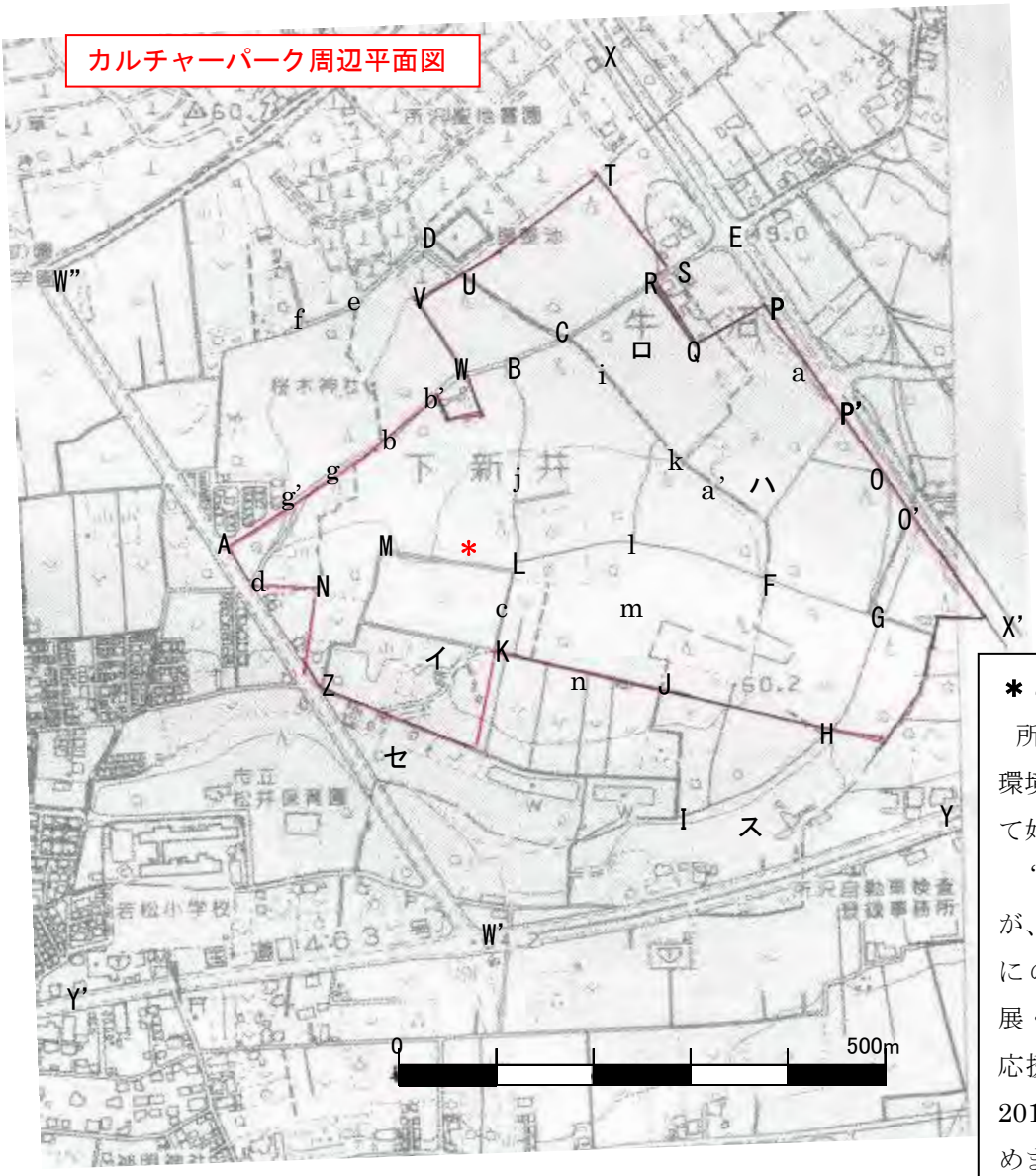
新型コロナ等の感染症発生時の対応

①毎回参加者名簿を作成する
（三浦さんがつけている出欠簿による)。
②次の場合その都度、代表へ連絡する。(発信元は伏せて参加者に知らせる)
イ.症状があり、検査を受けた時。
ハ.検査結果と医師・保健所などの指示があったとき。
③感染者が出た場合、求められれば、参加者名簿を保健所・公園課に提出します。

コロナ対策の基本について

WHOは「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の宣言を終了しましたが、同時に「ウイルスは命を奪い続け、変異も続けている。宣言の終了をもって各国は国民に、新型コロナは心配ないというメッセージを送ってはいけない」と述べています。ということで従来の予防策に準じた行動を基本とします。

カルチャーパーク周辺平面図



カルチャーパーク周辺　名称

地点名	イ	現在のデイキャンプ場
	ロ	湿　地
	ハ	現在のサッカー場
	セ	特養、グループホーム
	ス	産　廃
	E	交差点「開発」
	W’	交差点「牛沼」
通り名	X-E-X’	県道東京狭山線
	W”-A-W’	市道　カルチャーパーク通り
	Y-W’-Y’	国道
園内通り名（仮称のたたき台です）	A-B-C-E	桜木神社通り
	D-C	霊園通り
	C-F	サッカー場通り
	B-L-K	中央通り
	L-F-G	東西通り(L-F:フラワー通り)
	G-H	東通り
	K-J-I	農道
	I-H	産廃裏通り

園内の通りの名称は仮称(たたき台)です。
皆さんからの御意見をお寄せください。

＊この「応援隊」は

所沢市民大学 18 期「都市の環境」講座の受講生が呼びかけて始められました。

“所沢カルチャーパーク”が、「平成 11 年度基本構想」にのっとった公園として発展・整備されるように見守り、応援してゆくことを目指し、2011 年 10 月より活動をはじめました。

定例作業は毎月最終火曜日

まずはゴミ拾いと散策から取り組んできましたが、現在は「森の再生」をも念頭に置き、作業内容も広げています。

どなたでも参加できますのでお気軽にどうぞ。

追加の予備作業日については、「かわらばん」でお知らせします。

＊お願い

「かわらばん」の発行は、定例作業日(毎月最終火曜日)の翌月 10 日となっています。

参加された皆様、写真や感想メモのあるかたは、**翌月の５日**までに深澤まで送ってください。よろしく。